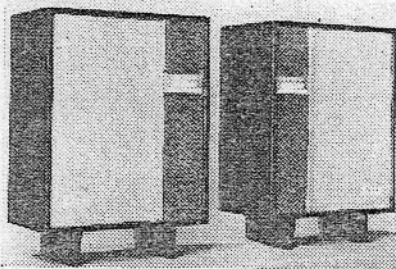


国内新製品紹介

パイオニアの SP システム

“BX-1A”

2 ウエイのステレオ・スピーカー・システムである。30 cm の高能率ウーファとプロフェショナルのホーン・トゥイーターを使っている。入力 20 W。VC インピーダンスは 16Ω、再生周波数帯域は 35~20,000 c/s、クロスオーバー周波数は 2,500 c/s である。また、付属品として、プッシュボタン式の高質調整装置もついている。外形寸法は高さ 700×幅 500×奥行 300 (mm) である。小売正価は左右とも各々 ¥ 22,000



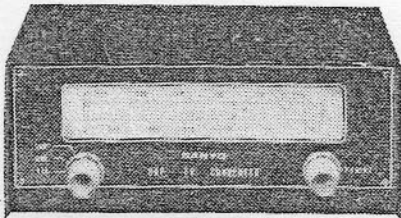
(東京都北区堀船町 3-25)

福洋音響 K.K.

三洋の新製品 7 種

●UHF テレビ・コンバーター

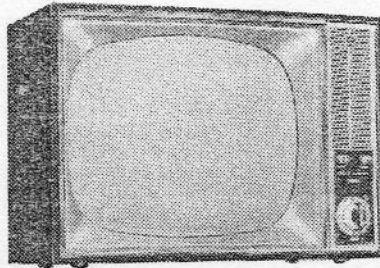
第 2 次チャンネル・プランによって、約 30 箇所 UHF 局の開局が予定されているが、この UHF で送られるテレビ電波を受けて普通の VHF テレビ受像機で見られるようにするためのコンバーターである。VHF 入力端子がついているので、これを接いだままでも、簡単な切替一つで VHF 放送の受信ができる。受信周波数帯は 670~770 Mc で、使用真空管は



6R-HH8 と 6AF4A、シリコンダイオード HS-9J2 (または SD82)、シリコン整流器 SD-1 である。入力インピーダンス、出力インピーダンスとも 300Ω である。消費電力は 12 W。但し本機を使用するには本機の外に専用のアンテナおよびフィーダーが必要である。外形寸法は幅 250×高さ 110×奥行 150 (mm)。正価は ¥14,000

●21型受像機 “21-D 40”

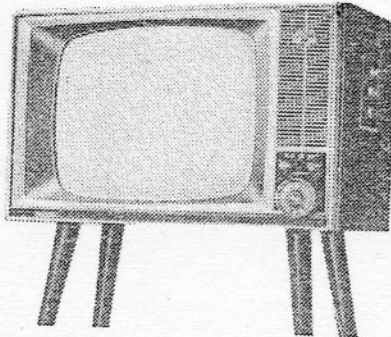
大型スクリーンの受像機で、プッシュプルスイッチの採用により、電源スイッチの ON-OFF と音量調整が別々にできる。スピーカー



は 11×25 cm の長楕円型で、音声出力は 2.0 W、使用真空管はブラウン管 (21-DAP4) を含めて 18 球である。なおリモコン装置を取付けることが可能である。外形寸法は幅 705×高さ 485 奥行 430 (mm) で、重量 38 kg。現金正価は ¥ 150,000

●19 型受像機 “19-V7”

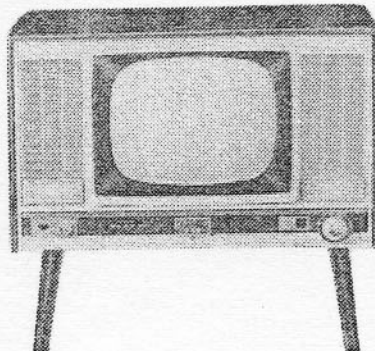
114° 偏向の 19 型ブラウン管を使ったもので、画面の広い割に奥行がせまい (38 cm)。また電子同調と称する AFT (自動微調整) 装置がついているのでチャンネルを切替えれば自動的に微調整ができる。スピーカーは 11×25 cm の長楕円型を使っている。音声出力は最大 2 W。



アンテナ入力インピーダンスは平衡 300Ω。使用真空管は 16 球である。外形寸法は幅 610×高さ 400×奥行 380 (mm)。重量は 27 kg である。現金正価は ¥104,000

●14 型受像機 “14-F7”

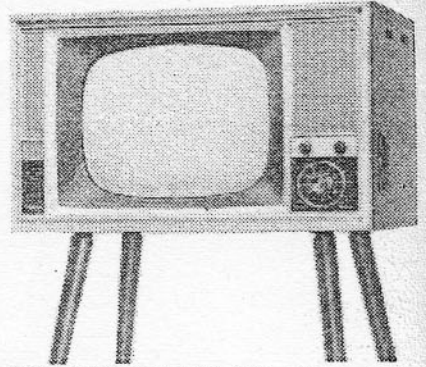
普通の 14 型であるが AFT 装置つきで、スピーカーは 11×25 cm 楕円型 2 個とコンデン



サー・トゥイーター 2 個という、計 4 個のスピーカーを使い音質の向上をはかっている。ブラウン管は 14-WP4 (90° メタルバック)、真空管は 16 本、音声出力は 2.0 W である。また ABC (自動明暗調整) 装置もついているから、部屋の明るさに応じて適当な輝度調節が自動的に行われる。リモコン装置の付加も可能である。外形寸法は幅 670×高さ 430×奥行 410 (mm) で、重量は 30 kg である。現金正価は ¥65,000。

●14型受像機 “14-L7”

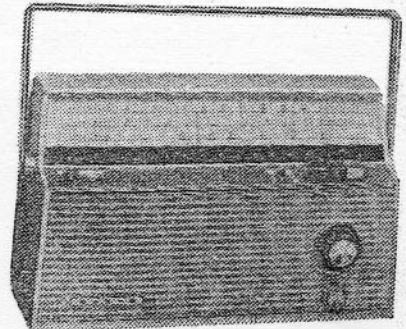
これは完全な普及型である。スピーカーは 10×15 cm (VC インピーダンス 3.1Ω) を使い、



音声出力は無歪で 1.2 W となっている。外形寸法は幅 560×高さ 360×奥行 390 (mm)、重量 20 kg。現金正価は ¥47,000。

●7石 2 バンド・ラジオ “7S-03”

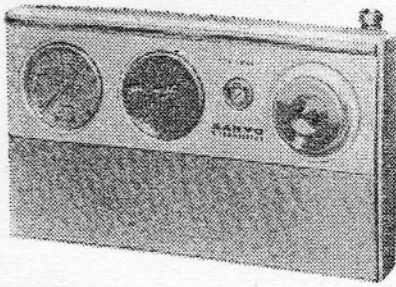
受信周波数帯は 540~1600 kc と 3.8~12 Mc の 2 バンド 7 石ホーム・ラジオである。感度は



BC: 65 μV/m/10 mW, SW: 40 μV/m/10 mW。電気的出力は無歪 270 mW。最大 500 mW、スピーカーは 10×15 cm PD 型。電源は単一×4 の 6 V。外形寸法は幅 330×高さ 247×奥行 125 (mm) で、重量は約 2.2 kg。現金正価は ¥ 12,500。

●8石 2 バンド・ラジオ “8S-P18”

微同調ツマミ、同調指示計つきで、中間周波数回路には 3 個の IF モジュールが使われている。受信周波数帯は 535~1605 kc, 3.85~12.5 Mc



感度は MW: $446\mu\text{V}/\text{m}$, SW: $250\mu\text{V}/\text{m}$. 電氣的出力は無歪 170 mW, 最大 300 mW. スピーカーは 6.5 cm である. 電源は単三×4 の 6V. 外形寸法は幅 182×高さ 108×厚さ 32 (mm) で, 重量は電池別で 560 g となっている. 現金正価は ¥12,900.

(大阪府守口市京阪本通 2-18)

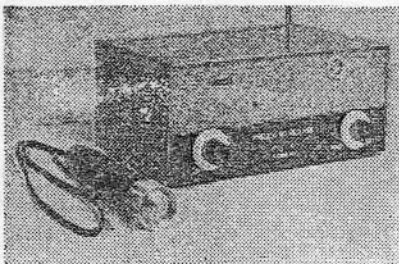
三洋電機 K. K.

日本トランペットの ワイヤレス・マイク

これは拡声装置用で, 普通, 拡声装置を使用するときはマイクのコードに制約されて自由な使用動作ができないが, このワイヤレス・マイクを使って充分なマイク効果を発揮することができる. 無線マイク (CNB-10) と受信機 (CNR-100) で構成されている.

CNB-10 は 3 石の送信機で, 中心周波数は 40.68 Mc, アンテナは線状伸縮着脱式で, 変調方式は FM, 出力 8 mW, 電源は積層乾電池 R006×2 で 18V. 外形寸法は直径 45 mm, 長さ 215 mm, 重量 215 g. 価格は ¥9,800.

CNR-100 は全真空管式 (9 球) で, 受信周波数は $40.68 \text{ Mc} \pm 1 \text{ Mc}$, 中間周波数は 4.3 Mc, アンテナはロッド・アンテナ, 感度は SQ 出力にて 20 dB, S/N 30 dB, 入力 50 dB にて S/N 30 dB 以上 (変調は 15 kc) 電源は AC 100V (50, 60 c/s), 外形寸法は幅 260×高さ 120×奥行 208 (mm) で, 重量は 3.5 kg. 価格は ¥22,400.



(大阪市東成区深江東 6 丁目 1)

日本トランペット商事 K. K.

変色しない銀メッキ

電気関係の端子や通信用機器の接点などは銀メッキされているが, 空気中の酸素によって表面が黒く変色し, このため接触抵抗の増大などの事故が発生することがあった. 銀メッキの変色劣化を防ぐことは, 通信機部品界での懸案であったが, 今まで試みられたものは, コストが著しく高くなったり, また, 大量加工ができなかったり, 管理方法が面倒だったりして実用化する技術方式は開発されていなかった. 寺田ケミカル工研では変色しない銀メッキの研究に全力

をあげていたが, この度, 量産向きの新技術を開発することに成功し, 目下あらゆる角度からのテストを続けている. この新技術は使用目的により, 電導性と耐熱性の二つの方法があるが, 大気中では 5 ヶ月間, 硫化ガス中でも 120 時間で変化がなく, 耐塩霧性も優秀であり, 電導性も変化なく, 耐熱性は, 例えばモールド加工の場合, 250 度を瞬間加えた時も耐熱性についても変化がない. この変色防止法は通信機用接点や端子などに大いに利用できる.

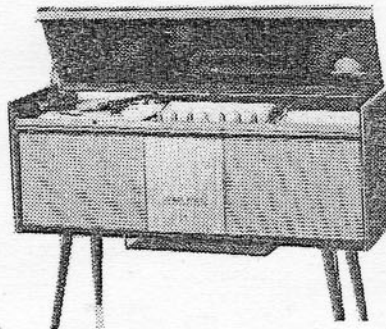
(東京都大田区道塚町 11 Tel: 731-0636)

寺田ケミカル工研 K. K.

ナショナルの新製品 3 種

●ステレオ・コンソール “HE-1800”

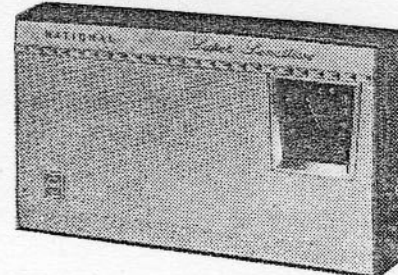
レコード再生の際にダイナミック・レンジをひろげる, ナショナル・エキスパンダー方式を使った Hi-Fi 装置で, 2 倍にひろげたダイナミック・レンジは左右に加わるエキスパンド効果はアンプ部の下の方にある指示部により光の強弱で示されるようになっている. チューナー部は Ch_1 が 535~1605 kc と 3.8~12 Mc の 2 バンド, Ch_2 が 535~1605 kc で, IF は Ch_1 が 455 kc で, Ch_2 が 475 kc である. 使用真空管は 12BE6×2, 12BA6×2, 6AV6×2, 12AX7×1, 30A5×2 で, この他リバープ増幅として



2SB173, 整流にシリコン・ダイオード SP-1 となっている. スピーカーは 18 cm P.D. が 2 個 (VC インピーダンスは 8 Ω), 受信感度は MW, SW とも $50\mu\text{V}/50 \text{ mW}$. 出力は最大 2.5W×2 (総合 5W), 無歪 2.0W×2 である. 消費電力は約 43 W. プレーヤー部は PU ガターンオーバー式セラミック型で, 再生周波数は 40~12,000 c/s, 針圧は 8 g, モーターはハイ・シンクロナス型で, 回転数は 4 スピード, ターン・テーブルは 17 cm ゴム・カバーつきである. 全体としての外形寸法は幅 1080×高さ 765×奥行 325 (mm) で, 重量は 20.6 kg である. 現金正価は ¥46,800.

●6 石ポータブル “T-51”

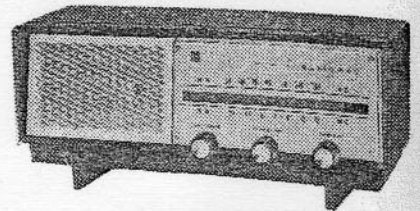
2SA102×3, 2SB171, 2SB176×2 の 6 石ラジオである 受信周波数は 540~1600 kc, 感度は



$120\mu\text{V} \text{ m} 5 \text{ mW}$, 出力は最大 200 mW, 無歪で 150 mW. 電池は単三×4 の 6V, スピーカーは 6.5 cm 型. 外形寸法は幅 150×高さ 87.5×厚さ 42 (mm) で, 重量は 435 kg である. 現金正価は ¥7,300.

●2 バンド・ホーム・ラジオ “GX-240”

12BE6, 12BA6, 12AV6, 30A5, 35W4 のトランスレス 5 球スーパーで, 受信周波数は 535~1605 kc, 3.75~12 Mc の 2 バンドである. 感度は MW, SW とも $50\mu\text{V}/50 \text{ mW}$. 電氣的出力は無歪 1.0 W, 最大 1.2 W. 消費電力は 25 VA. 外形寸法は幅 342×高さ 150.5×奥行 133.5 (mm). 重量は 1.7 kg. 現金正価は ¥5,980.



(大阪府北河内郡門真町)

松下電器・ラジオ事業部

菊水の新製品 2 種

●可変直流低電圧安定化電源 “717”

トランジスターを使用した直列型の直流安定化電源で, 0V~35 までを 7 レンジに分割して連続可変し, 最大 1.5 A の出力電流を利用できる. 小型軽量ながら, 大型の電圧・電流計を備え, 出力短絡による事故を防止するためのリレーによる出力遮断回路を内装している. 出力電圧は 0~5.5~10/10~15.../30~35 V, リップルは 3 mV p-p. 安定度は電源電圧の $\pm 10\%$. 変動に対して $\pm(0.1\%+15 \text{ mV})$. 出力電流の 0~1.2 A 変化に対して $\pm(0.15\%+20 \text{ mV})$. 使用の電圧・電流計は 2.5 級, 4 レンジ (3.5 V/35 V/1.5 A/0.15 A), 電流計電圧降下は 50 mV である. 外形寸法は最大部をとって幅 165×高さ 215×奥行 325 (mm) で, 重量は約 8.3 kg である. 定価は ¥20,800.

●可変直流安定化電源 “729”

真空管を使用した直列型定電圧電源で, 真空管回路の実験用として便利である. 出力は

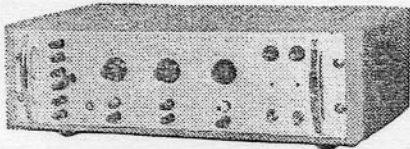
- (I) 0~300 V 連続可変 150 mA max
- (II) 0~300 V “ ”
- (III) 0~150 V “C” バイアス用

および安定化していない真空管ヒーター用の交流出力は

- (IV) 5 V 2 A max
- (V) 12.6 V 1 A max
- (VI) 6.3 V 2 A max

直流安定化出力の最大連続出力電流は出力電圧 300 V において 150 mA, 250 V で 120 mA, 200 V で 100 mA, 150 V で 85 mA, 100 V で 70 mA, 50 V で 65 mA, 50 V 以下で 60 mA となっている. 変圧変動率は電源の $\pm 10\%$ 変動に対して $\pm(1\%+0.5 \text{ V})$. 出力電流の 0~100%. 変化に対して $\pm(1\%+0.5 \text{ V})$, リップルは 50 mV p-p. 外形寸法は最大部で幅 550

×高さ 170×奥行 290 (mm) で、重量は 13.2 kg である。

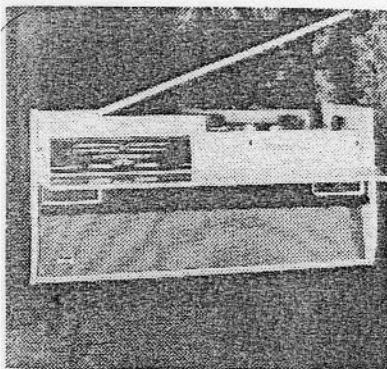


(東京都大田区馬込西 4 の 67)

菊水電波 K K

東芝のステレオ・コンソール "TSA-9"

チューナー・アンプ部分はマジックアイつき 19 球で、受信周波数帯は左チャンネルが、535~1620 kc と 3.9~12.2 Mc で、右チャンネルは 535~1620 kc と 79.7~90.2 Mc (FM) である。使用真空管は 6BE6×2、6BA3×3、12AX7×3、6AQ8×2、6AU6、6AL5、5R16×2、6AR5×4、6ME10、1S34×2 となっている。スピーカーは 20 cm のオイルダンプ式と、8 cm のバリブル・エッジ式とが各 2 個使われていて、60~13000 c/s (±8 dB) の周波数特性を得ている。出力は無歪で 3.0 W、最大 4 W モノラル放送を聴取するときは帯域幅の切換 (Hi-Fi, DX) がついている。キャビは写真のように大型豪華なもので備材を使っている。その外形寸法は幅 1.170×高さ 860×奥行 440 (mm) で、重量は約 50 kg である。本コンソールに取付けられるステレオ・レコード・プレーヤーは TPS-9 型と呼ばれ、一応別々の製品となっている。このプレーヤー部は幅 453×高さ 115×奥行 320 (mm) で重量約 4 kg である。モーターは 4 極インダクション型で、回転は 16²/₃、33¹/₃、45、78 r.p.m の 4 スピードで、マグネチック・ブレーキにより微調整することができる。ターン・テーブルは 25 cm (ゴム・シートつき)、ピックアップはパイプのアームでダイナミック・バランス方式、プラグイン式のクリスタルカートリッジを使用している。針圧は 0.5 gr 一定になるよう、コイル・スプリングで与えられているので、レコードのソリや波打に対しても常に一定の針圧となる。



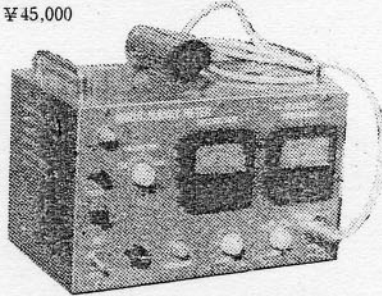
(東京都千代田区有楽町朝日新聞ビル内)

東芝音楽工業 K. K.

放射能測定器 "R-L224216"

AC 式放射能測定器である。これは Lux ガイガー管 7D41 を使用して、放射能の α, β, γ 線を検知し、かつそのカウント数を直読できる

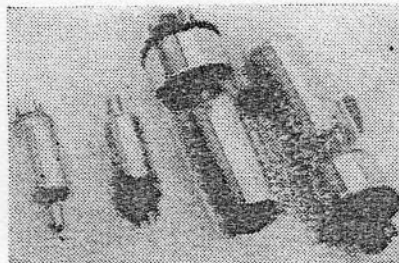
ようになっている。従来のサーベイメーターのように μA メーターと表によらず、放射能物質をガイガー管に当てれば、直ちにカウントメーターが振れて直読できるのが特長である。精度は ±10% で、付属スピーカーより音を聞くことができ、また、ネオン管が明滅して放射能を示す。左側のメーターは、ガイガー管の電圧を指示する。この機械は、特許 224216 を有し、東京都より、発明奨励金を授賞している。定価 ¥45,000



Lux-γ 線用ガイガー管 "7G41, 7G41-MT"

7G41 は外径 30φ、全長 90 mm で電圧は 800 V で働く。放射能中 γ 線の検出に用いられるが、β 線にも、7D41 (β 線用) の約 1/5 の感度がある。定価 ¥3,500

7G41-MT は外径 17φ、全長 40 mm の超小型ガイガー管で、やはり β 線用である。γ 線は 100%、β 線にも前述のように 1/5 の感度がある。使用電圧は約 700 V でこれを用いるとピース大の放射能測定器ができる。定価 ¥5,000
7G41, 7G41-MT、共に特許出願中である。



東京都品川区南品川 6-1495

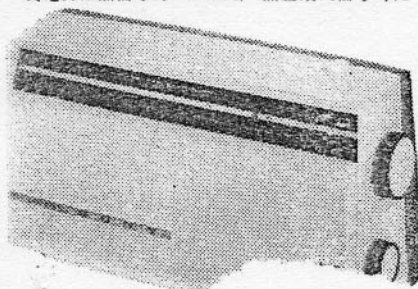
TEL (491-3663)

ルックス工業 K. K.

ソニーの新製品 3 種

●7 石ホーム・ラジオ "TR-727"

MW: 535~1605 kc と SW: 3.9~12 Mc の 2 バンドで、新設計の大型フェライトバー・アンテナを用いているので非常に感度がよい。また横行式の微動ダイヤルは側面のツマミで軽く操作でき、短波のキャッチも楽である。中波と短波との切換えはプッシュボタン式になっている。出力は無歪 560 mW、最大 830 mW、消費電力は無信号時 15 mA、無歪最大信号時に

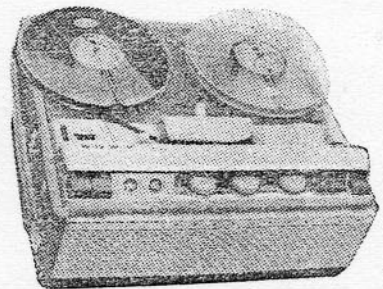


195 mA である。スピーカーは 10 cm 丸型 (VC インピーダンス 8 Ω)。電源は単一×4 の 6 V。外形寸法は幅 282×高さ 156×厚さ 100 mm で、重量は電池ともて 1.9 kg。なお、本機には新方式の把手もついでおりハンディ・ラジオとしても使用できる。現金正価は ¥9,800。

●4 トラック・2 チャンネルのテープレコーダー "464"

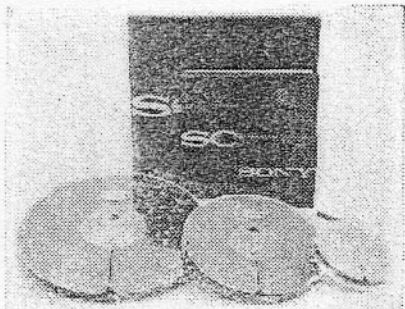
本機にはヘッドが上下に 2 つ並んでついでいて、録音系および再生プリアンプが 2 組ずつ組み込まれている。そしてテープは往復で 4 トラックとして使われる。そのため 8 ミリのトーキー化にしても上のトラックに説明を入れながら下のトラックにバック・グラウンド・ミュージックを入れたり、1 人で 2 重唱や 2 重奏の録音、また上下のトラックを再生と録音にして語学や音楽のテープ・ティーチャーとしても使える。さらに 2 個のマイクを使つてのステレオ録音、ラジオのステレオ放送の録音までできるようになっている。モノラルとして使う場合は 1 本のテープで 4 回の録音ができるから、7 型テープを使えば 1 巻で 6 時間の録音・再生ができる。8 ミリ完全同期装置 (ソニー・ムービー・シンク MS-86 型) も取付けられる。

使用真空管は 12AX7、6AU6×2、6AV6、6AR5、6X4、6ME10×2 である。内蔵スピーカーは 8×18 cm 楕円型 (8 Ω) で、出力は 2.5 W である。入力回路は各組ともマイク入力 0.6 mV/10 kΩ、線路入力 100 mV/100 kΩ、録・再コネクター 10 mV/100 kΩ。テープ速度は毎秒 19 cm と 9.5 cm の 2 スピード、周波数特性は 19 cm/秒のとき 60~13,000 c/s、9.5 cm/秒のとき 60~10,000 c/s となっている。外形寸法は幅 375×高さ 165×奥行 315 (mm) で、重量は約 11 kg である。正価は ¥49,500。



●ソニー・テープ PY 型, MY 型

PY 型は従来のもと同じであるが、MY 型は同じ A 型リールでも 1.5 倍の長時間録音ができる (ベース材料がうすくなったため)。ベースにはポリエステルが使われているから、温度や湿度の変化にも強い。特性・規格図は別表のとおり



(東京都品川区北品川 6-351)

ソニー K. K.